

|   |  |
|---|--|
| 教材名   | くもの巣   |
| <p>〈教材のねらい・使い方〉</p> <p>・歌の歌詞に合わせて吊されたスカーフをくぐり抜け、顔や手に触れたスカーフのふわっとしてまとわりつく感覚を感じることでくもの巣を疑似体験することができる。</p>   |  |
| <p>材料及び作成の工夫等</p> <p>スカーフは、ソフトで軽く強い素材（ナイロン）でカラフルな物を使用した。</p> <p>①洗濯ばさみで棒に付ける。</p> <p>②必要に応じて縦に2枚結ぶと、長いくもの巣になる。</p> <p>③棒の両端をポール等に固定すると、安定した状態で車椅子でくぐり抜けることができる。</p>   |  |
| <p>題材名と児童生徒の使用している様子等</p>   |  |
| <p>〈自立活動（音楽的活動） 季節の歌を感じよう～「さんぽ」～〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="236 1131 582 1637" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 始めの挨拶</li> <li>2 始まりの歌<br/>「ドレミの歌」</li> <li>3 ふれあい歌あそび<br/>「いとまきのうた」</li> <li>4 季節の歌<br/>「茶つみ」<br/>「さんぽ」</li> <li>5 終わりの挨拶</li> </ol> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>・「さんぽ」の曲を歌いながら、多目的ホール内を歩いた。くもの巣のコーナーでは、くぐり抜けるときに顔や手等にスカーフが触れ、児童生徒はくすぐったいような顔をしたり、光が透ける様子をじっと見つめたりしていた。生地が適度に透けるため、スカーフの向こうにいる友達や教師の様子も見えていた。</p> |  |